



ちょっと挑戦

リコーダーで「きよしこの夜」を吹こう

Stille Nacht, heilige Nacht

リコーダー「きよしこの夜」のドレミ楽譜。音ごとの運指つき。

フランツ・クサーヴァー・グルーバーの曲で、1818年にオーストリアで初めて歌われました。ゆったりした3拍子の曲で、最後のほうで高いファまで上がります。使う音は11つ：低いド・低いレ・低いミ・ファ・ソ・ラ・シ・高いド・高いレ・高いミ・高いファ。下に、リズムつきの音と、それぞれの運指があります。

音

ソ ラ ソ ミ ソ ラ ソ ミ レ レ シ ド シ ラ ソ ラ ソ ミ レ レ ファ レ シ ド ミ ド ソ ミ ソ ファ レ ド

長いブロックほど長い音です。線は小節の区切りです。

五線譜

ソ ラ ソ ミ ソ ラ ソ ミ レ レ



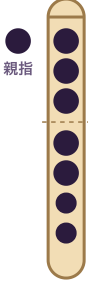
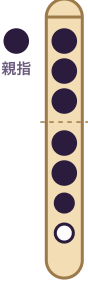
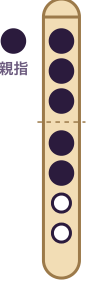
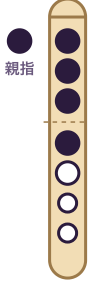
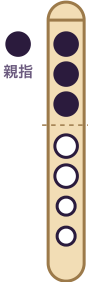
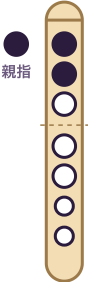
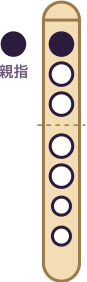
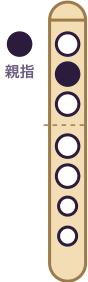
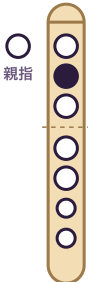
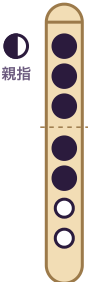
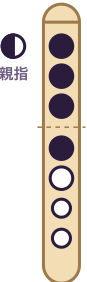
同じ曲を五線譜で。下に音の名前があります。

ドレミで書いた音

ソ ラ ソ ミ ソ ラ ソ ミ レ' レ' シ ド' ド' ソ ラ ラ ド'
 シ ラ ソ ラ ソ ミ ラ ラ ド' シ ラ ソ ラ ソ ミ レ' レ'
 ファ' レ' シ ド' ミ' ド' ソ ミ ソ ファ レ ド

「'」は高い音のしるしです：高いド・高いレ・高いミ・高いファ。ソプラノリコーダー用です。

運指

 <p>低いド 親指の穴をふさぐ、1・2・3・4・5・6・7番の穴をふさぐ</p>	 <p>低いレ 親指の穴をふさぐ、1・2・3・4・5・6番の穴をふさぐ</p>	 <p>低いミ 親指の穴をふさぐ、1・2・3・4・5番の穴をふさぐ</p>	 <p>ファ 親指の穴をふさぐ、1・2・3・4番の穴をふさぐ</p>
 <p>ソ 親指の穴をふさぐ、1・2・3番の穴をふさぐ</p>	 <p>ラ 親指の穴をふさぐ、1・2番の穴をふさぐ</p>	 <p>シ 親指の穴をふさぐ、1番の穴をふさぐ</p>	 <p>高いド 親指の穴をふさぐ、2番の穴をふさぐ</p>
 <p>高いレ 親指の穴をあける、2番の穴をふさぐ</p>	 <p>高いミ 親指の穴を半分あける（サミング）、1・2・3・4・5番の穴をふさぐ</p>	 <p>高いファ 親指の穴を半分あける（サミング）、1・2・3・4番の穴をふさぐ</p>	

「再生」をタップすると音が聞けます。カードをタップすると吹き方が見られます。黒い穴はふさぎます。左手が上（親指は裏、1～3番の穴）、右手が下（4～7番の穴）です。

コツ

- 1つの音ごとに「トゥ」と舌をつかって吹きましょう（タンギング）。同じ音が続いても、1つずつはっきり聞こえます。
- スープをさますように、やさしく息を入れましょう。強すぎると、ピーッと1オクターブ上の音になります。

- 指先ではなく、指のはら（やわらかいところ）で穴をふさぎましょう。すき間から息がもれません。
- 低いドはいちばんやさしい息で、すべての穴をしっかりとふさぎます。ピーッと鳴ったら、まず下のほうの指を確かめましょう。
- ファはバロック式とジャーマン式でちがいます。バロック式は親指と1～4・6・7番をふさぎ、5番をあけます。ジャーマン式は親指と1～4番だけです。
- 高いファは、高いミと同じくサミングで。親指の穴の上に小さなすき間をあけて、安定した息で吹きましょう。
- 高いミはサミングを使います。左手の親指を少し曲げて、つめで裏の穴を半分ふさぎ、上にすき間を少し残します。1～5番は低いミと同じようにふさぎます。
- 高いレは親指の穴をあけて、2番の穴だけをふさぎます。左手の中指でささえます。
- 高いドは、人さし指（1番）をはなして、親指と2番の穴をふさいだままにします。